



# クレオ大阪×SDGs セミナー・イベント 2020

クレオ大阪各館では、市民が気軽に参加できる無料セミナーを展開。  
多彩なテーマで関心を高め、自らアクションを起こすきっかけをつくっています。



## 社会を動かすキャンペーンを考えよう

クレオ大阪中央 10/10 10/17

ジェンダー格差や、環境汚染、貧困問題。1人で行動するよりも、公共機関・民間企業と一緒に考え、実行に移すことが、社会を変える近道です。ただ大きな声を上げるだけでは、自分の思いに共感する仲間を増やせません。相手を知る“受信力”を強化し、対象や時期について戦略を立てることを学びました。受講後、教育現場の視点から自治体に提言し、大きな反響を得た参加者もいます。



## コロナ禍で見えてきた住まいと暮らしの不安

クレオ大阪子育て館 11/21

「居住福祉」や「社会保障」を切り口に、シングルマザーや非正規雇用の女性の支援事例を共有しました。シングルマザー限定のシェアハウス運営者は「社会的弱者のシェルターとしての住まいではなく、1人1人が人生を謳歌し、主体的に実現する権利や力があると実感できる住まい」を提唱。コロナ禍で女性を取り巻く環境の厳しさが増す中、一歩進んだポジティブな取り組みに関心が集まりました



## SDGs LABO2021 わかものアイデアコンテスト

クレオ大阪西 3/21

「自分たちの住むまちを自分たちの力で変える！」をコンセプトに、10～20代の学生がSDGsの課題解決に向けてプレゼン。LGBTsの居場所づくりに取り組む高校生は、多目的トイレを題材に、性別に違和感がある人が安心して暮らせる環境整備を呼びかけました。入賞者の活動は、クレオ大阪西が継続的に支援します。



## ひきこもりから考える～ひきこもりを支援するとは～

クレオ大阪南 12/16

ひきこもり状態にある人の、長期化・高齢化の深刻さが増えています。自立を呼びかけるだけでは支援者、当事者どちらも疲れ、傷つく結果になりかねません。人をどう動かすかではなく、周囲の環境や社会構造に焦点を当てること。生きづらさの根幹に向き合う、本当の意味での支援について考えました。



## 男のしゃべり場

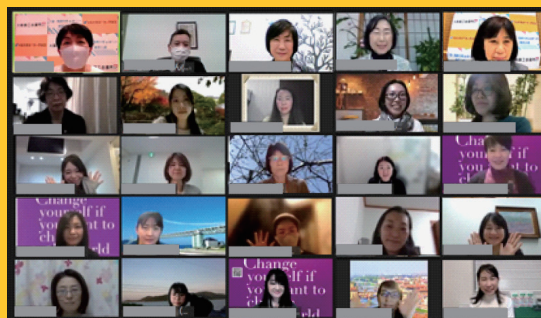
クレオ大阪東 12/5 1/23

「男らしさ」に縛られ、息苦しさを抱える男性は少なくありません。そんな人のための、職場でも家庭でもない「第3の居場所」。夫婦や子ども、職場での人間関係のモヤモヤについて、男性同士がフラットに語り合いました。人と直接会う機会が減った今だからこそ、続けていきたい企画です。

## サステナブルな社会に向けて連携

企業・行政・大学・非営利団体といった所属の垣根を越えて連携することで、大阪・関西の未来をジェンダー視点から共に創り上げるプロジェクト。2014年度にスタートし、第4回となる今回は、オンラインで集った約70人が、2025年の大阪万博に向け、理想としたい未来について意見交換しました。関西経済同友会代表幹事の生駒京子さんや、フェアトレードショップ「Love&sense」を運営する高津玉枝さんは、「わくわくと楽しみながらサステナブルな社会に変革していきましょう」と呼びかけ。それぞれが刺激を受け、励まされるひとときを過ごしました。参加者は、早速SNSでつながるなど、行動の輪を生み出すネットワークを広げています。

## 3/23 大阪・関西女性のみらい創造会議



### 参加者の感想

- さまざまな形、立場でジェンダー平等に向けて活動している方とお話でき、勇気もらった。
- 後日お話をする約束をし、数名の方とSNSでつながった。今後が楽しみです。
- 何か新しいことを始めようという気持ちになった。